

## 編集後記

本研究の元代表者武藤三千夫先生は、東京芸術大学を平成10年度に退官され、その後、平成11年度にこの広島市立大学に着任されました。先生の在職中、本学の後期博士後期課程が認可となって、その教育方針と内容について、芸術学部としての教育理念を形成する過程で、適切な提言と助言をされました。そのようなご多忙な中で、本研究の萌芽と云うべき美学の理論研究グループと広島市立大学芸術学部の制作者グループのきわめて幸運な出会いがあったといえます。武藤先生がご自身でも語られるように、東京芸術大学在任中でも実現しえなかった理論と実験による研究が、国際的にも知られた「都市広島」をテーマに展開することができたのが、本研究の実はもっとも大きな意義ではないかと思えます。

研究代表者の立場を引き継いだ私は、武藤先生が提唱された、美学の理論と制作者の実験による環境美学の新たな挑戦というべきコンセプトを基軸にしえたことによって、ここに無事に纏めて報告できたのではないかと思います。

研究代表者 広島市立大学芸術学部 助教授 吉井 章

# 環境美学－アイステーションの理－

美的文化と環境－21世紀における環境美学の視点から－  
平成14－16年度科学研究費補助金[基盤研究(B)(1)]

研究成果報告書

課題番号14310025

研究代表者 広島市立大学芸術学部助教授 吉井 章

平成17年3月

〒731-3194 広島市安佐南区大塚東3丁目4-1

寄贈 広島市立大学芸術学部

TEL 082-830-1500 (代表)